



豊郷地区には、鹿島市を代表する塙原
山の墓、沼尾神社・坂戸神社・夫婦塚など
多くの古墳群があります。また、豊郷地区では、身近に
ある地域の歴史、文化に触れる機会として、
「豊郷ものしりマップ」を作成しました。
ぜひマップをご活用いただき、ウォーキング
などを楽しみながら豊郷の歴史的、文
化的資源が沢山あります。

① 笠貫神社 (かさぬきじんじゃ)
田谷の鎮守社。
祭神は手置軒舟命(たおきほおいのみこと)
創立年代不詳。
本殿流れ造り方
二間四坪。
例祭は11月23日。
境内地は三十八坪。



② 熊野神社 (くまのじんじゃ)
猿田の鎮守社。
祭神は伊弉諾尊(いざなぎのみこと)
伊弉冉命(いざなみのみこと)
例祭は11月23日。
本殿四坪、神明鳥居。
三十七坪の境内は二百坪の
山林に囲まれる。



③ 坂戸神社 (さかとじんじゃ)
山之上字坂戸に鎮座する鹿島神宮の境外摂社。
祭神は天忍屋根命(あめのこやねのみこと)
鹿島三社(鹿島神宮・沼尾神社・坂戸神社)
の一社である。本殿は平入式、拜殿は妻入り。
本殿は東面しており、東一の鳥居。
朝石(の頭)と正対するものは坂戸神社
であるという指摘がある。
坂戸神社境内は国の史跡に指定されている
(本宮境内に包括)。
なお、本宮境内には坂戸神社の直拝所がある。



④ 国土神社 (くどじんじゃ)
山之上の鎮守社。
祭神は大己貴命(おおなむちのみこと)
例祭は雄略 10月15日。
社殿(南向)
瓦葺き方二間。
境内地三十九坪。



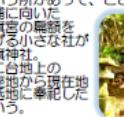
⑤ 竜会城跡 (りゅうかいじょうあと)
山之上字龍會に所在する。
戰国時代末期、築城半ばにして廃城に
なったと伝える。
鹿島城の北方
約2千ロの舌状台地
の西側にある。
「竜会城のお姫様」という民話がある。



⑥ 水神社 (すいじんじゃ)
須賀の鎮守社。
祭神は水速女命(みずはやめのみこと)
創建不詳。鎌倉内匠家の
氏神を水運の守護神として
祀ったと伝える。
例祭は11月23日。
本殿五坪、手水舎半坪。
石作りの神明鳥居。
境内地五十二坪。



⑦ 須賀古墳群 (すかこふんぐん)
宇摩前(うまぜん)の舌状台地の先端に
分布している。円墳13基を数える。
耕作には不向きとされ、山林として利用
されてきた。信仰の地としてきたので、
保存状態は良好である。
庚申を祀る庚申塚(こうしんづか)。
愛宕神社を愛宕石塚(あだいづか)。
修験者達が界界とさしてきた梵天塚
(ぼんてんづか)等と称されて、
古くから大切にされてきた。



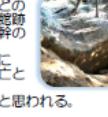
⑧ 白旗神社 (しらはたじんじゃ)
須賀の北はすれの台地の麓
(もと)に大作(おおさく)
という所があり、ここに
白旗宮の靈廟を
祀る小さな社が
白旗神社。
後に台地上の
底地から現在地
へ奉祀した
といふ。



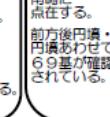
⑬ 大宮神社 (おおみやじんじゃ)
祭神は武甕槌命
(たけみかづらのみこと)

ト云の墓、沼尾神社・坂戸神社・夫婦塚など、文
化的資源が沢山あります。
豊郷地区はまだ多くの資源会員では、身近に
ある地域の歴史、文化に触れる機会として、
「豊郷ものしりマップ」を作成しました。
ぜひマップをご活用いただき、ウォーキング
などを楽しみながら豊郷の歴史的、文
化的資源をより深く知つ
てもらえることを願っています。

⑨ 塙原館跡 (つかはらやかたあと)
沼尾字根山に所在する。標高3.4m前後の
舌状台地先端部にあり、北、西、南の三方を
空堀によって区画した跡地。
標高10m、深さ5mほどの
空堀で、北側には土塁、南側には水塗。
本殿は不動尊であった。寺跡、寺跡地を残す。
創建年代不詳。
幕末にはすでに廢寺と
なっていたと考えられる。



⑩ 宝積院 (ほうしゃくいん)
沼尾に所在した。
貢言宗豊山派。
本尊は不動尊であった。寺跡、寺跡地を残す。
創建年代不詳。
幕末にはすでに廢寺と
なっていたと考えられる。



⑪ 塙原古墳群 (つかはらこふんぐん)
沼尾字山中、狹山、センゴク、
南崎に所在する。
前方後円墳、
円墳あわせて
69基が確認
されている。



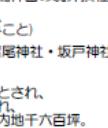
⑫ 金砂神社 (かなさじんじゃ)
沼尾の鎮守社。祭神は大己貴命
(おおなむちのみこと)
経津主命(あめのくにたまのみこと)
経溝主命(ふつしのみこと)
を祀る。
例祭は11月23日。
本殿四坪。
神明鳥居1基。
境内地五十一坪。



⑯ 沼尾神社 (ぬまおじんじゃ)

⑯ 沼尾神社 (ぬまおじんじゃ)

沼尾字原に鎮座する鹿島神宮の境外摂社。
祭神は香取神宮の祭神、
經津主命(あめのくにたまのみこと)
鹿島三社(鹿島神宮・沼尾神社・坂戸神社)
の一社である。



本殿は元和年間の造営とされ、
昭和10年に破壊され、
その後再建された。境内地千六百坪。

⑯ 大門遺跡 (だいもんいせき)

⑯ 大門遺跡 (だいもんいせき)

大字須賀大門に分布する。
縄文時代を中心とした埋蔵文化財の包蔵地であり、
旧郡跡の推定地の一つである。
大門という小字からは城郭の門があつたとの推定もある。
平成27年の調査で大型土器(直径4.7m)XQ17という大型の
建物が検出され、朱墨畫土器(しゆもくずわい)が出土した。(鹿崎では朱の文字で書かれた土器は15例目)

旧郡跡の遺構は見つからないものの、
旧郡向に郡がある時期の沼尾郡の主要な集落か
郡庁の別院と考えられる。

⑯ 梶内遺跡 (かじうちいせき)

⑯ 梶内遺跡 (かじうちいせき)

大字沼尾字梶内に分布する。
縄文・古墳・奈良・平安時代を中心とした埋蔵文化財の
包蔵地であり、旧郡跡の推定地の一つである。

梶内遺跡も平成12年に統合されて
いる。



⑯ 田野辺貝塚 (たのべかいづか)

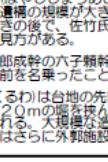
太平洋戦争中に、地主の高須彌氏
が防空壕を掘った箇所で偶然に
原爆幸存者が発見した。



⑯ 林城跡 (外城) (はやしじょうあと)

⑯ 林城跡 (外城) (はやしじょうあと)

林城跡(はやしじょうあと)は中城と外城があり、
外城は土塁の複数が大きいところ、南北各十三
間(約27m)の幅を保つ東西に12か所、深さ
約2.7mの堀を有する。内側は11か所の内堀が
配置される。大田原城が完成された頃跡地であり、
南側にはさらに外郭施設が広がっている。



鹿島三郎成幹の八ヶ類幹が林地区の領主となり
地の名前を名乗ったことに始まる。



曲輪(くるわ)は台地の先端部東西に2か所、深さ
約2.7mの堀を保つ。内側は11か所の内堀が
配置される。大田原城が完成された頃跡地であり、
南側にはさらに外郭施設が広がっている。

11

11

⑯ 遠ヶ入遺跡 (とうがいりいせき)

⑯ 遠ヶ入遺跡 (とうがいりいせき)

台地上は遺跡の包蔵地、斜面
より鉄滓(てつしづ)が出土して
いる。
心ごこつの羽口と鉄滓が出土して
いるため、製鉄遺跡と考え
られている。
平成11年に遠ヶ入製鉄遺跡
が統合される。
一部は埋没した。

旧郡跡の遺構は見つからないものの、
旧郡向に郡がある時期の沼尾郡の主要な集落か
郡庁の別院と考えられる。

⑯ ミシマ遺跡 (みしまいせき)

⑯ ミシマ遺跡 (みしまいせき)

古代墳墓事業に伴う発掘調査後埋没。
縄文時代中期と古墳時代の集落跡。
1975年に豊橋台
遺跡群として調査が
行われ、縄文時代
中期の遺跡や塚跡、
石器が豊橋台居住地や
土坑から多量に出土
している。



⑯ 宮中野古墳群 (きゅうちゅうのこのふんぐん)

宮中野古墳群は、現在
前方後円墳19基、
帆立貝式古墳2基、
方墳3基、円墳103
基で総数122基が
数えられており
(ただし幾つかは消滅)
のうち大場塚古墳は、
2つの階段とともに
荒巻市指定の史跡に
なっている。



夫婦塚古墳
大塚古墳

令和4年々日登行
春行・豊郷地区ガイドマップ会議

春行・豊郷地区アドバイザリーミーティング

